

保護者の皆さまへ

令和5年度 学校教育自己診断 結果報告書

河内長野市立加賀田中学校
校長 松原 澄規

1. はじめに

今年度も生徒、保護者、教職員等の本校の教育に対する幅広い考えを知る目的で、「令和5年度 学校教育自己診断」を実施しました。この報告書では生徒、保護者調査を中心にその結果を考察し、本校の来年度以降の教育活動に活かしていきたいと思っております。ご協力ありがとうございました。

2. 調査内容

本校の現状や課題、昨年度の調査結果等を考慮して、全生徒、保護者の方々に対して令和6年2月に18の調査項目（アンケート形式）で実施しました。内容については、「よくわからない」という選択肢をできるだけ避けるため、問いの文面を一部変更しています。集計結果及び考察等については、本校ホームページで掲載いたします。

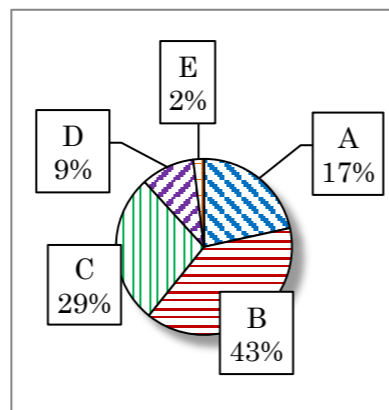
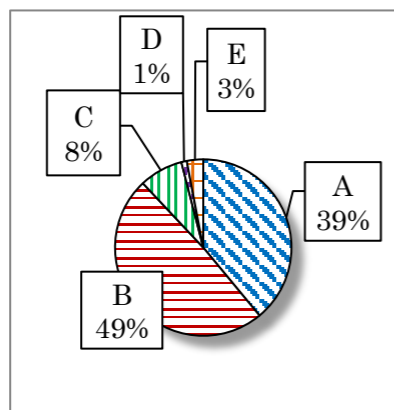
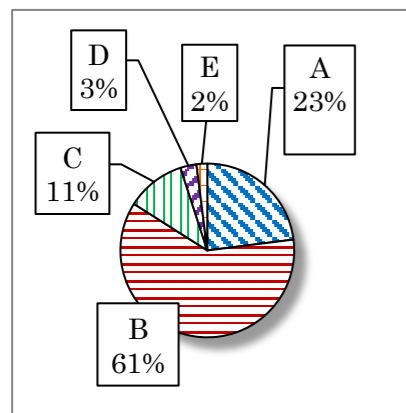
3. 調査結果

【アンケート結果の見方】

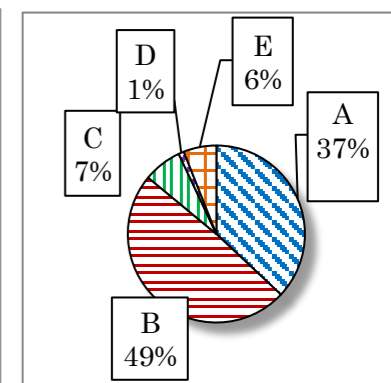
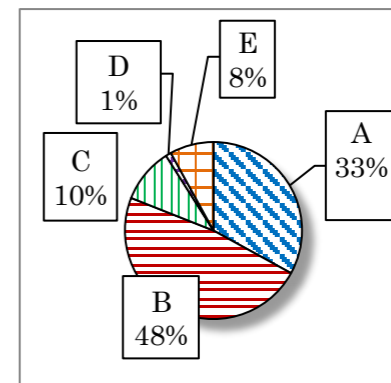
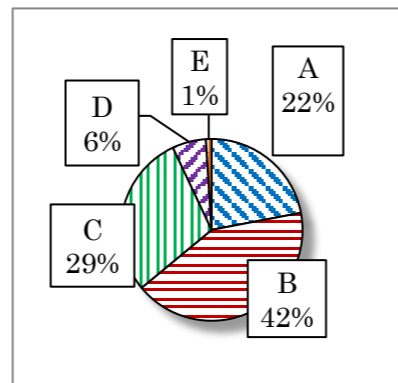
A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない
D：まったくあてはまらない E：よくわからない

生徒調査・・・18項目の結果を表示します。

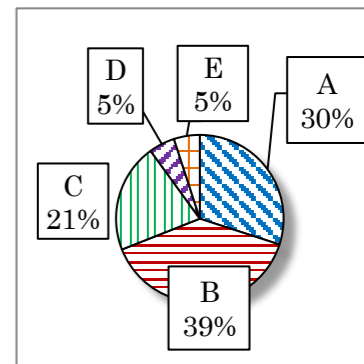
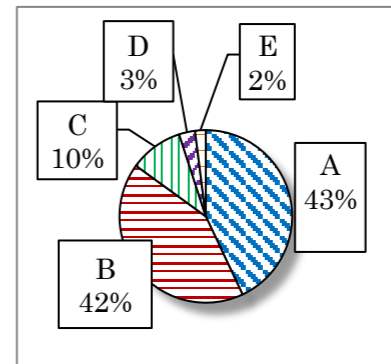
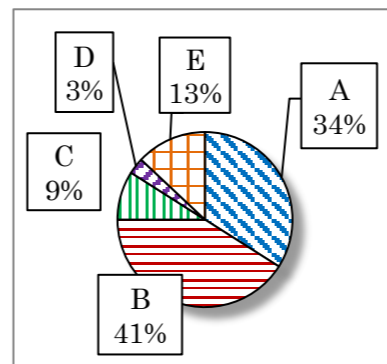
- 1. 全般的に授業はよくわかる。
- 2. 学校生活の基本は毎時間の授業なので大切にしたいと思っている。
- 3. 授業や学級活動で、自分の意見を発表することができる。



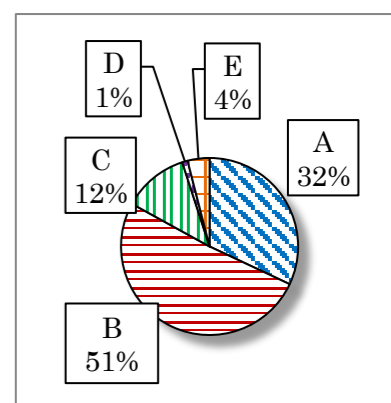
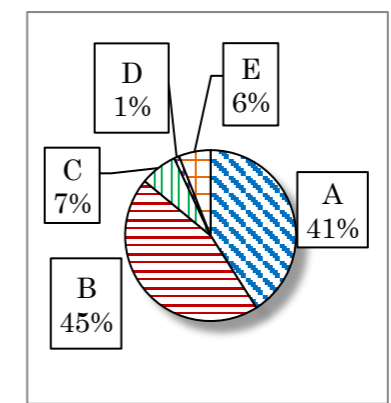
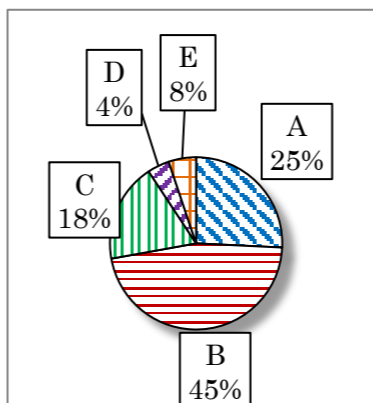
- 4. 授業中分からないことがあれば、質問をすることができる。
- 5. 自分が習っている先生の中では、指導の仕方でいろいろ工夫している先生が多い。
- 6. 学校では、人権の大切さについて学習する機会がある。



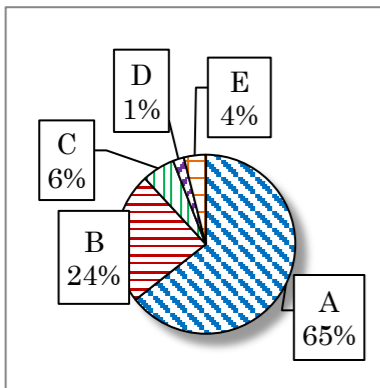
- 7. 一斉授業に比べて、少人数指導等(習熟度別学習や複数の先生による授業を含む)の方が、発言しやすいなど、学習意欲が向上した。
- 8. 全般的に学校生活は楽しいと感じている。
- 9. 学校には何かあれば相談できる先生がいる。



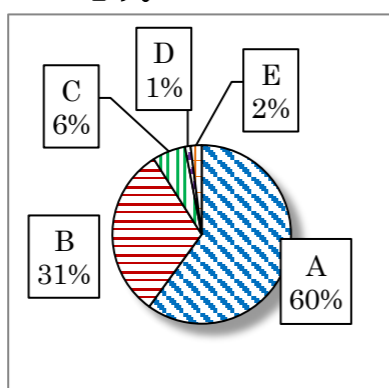
- 10. 部活動に積極的に参加している生徒が多いと感じる。
- 11. 本校の生徒会活動や委員会活動は活発だと思う。
- 12. 生徒会活動や委員会活動には、自分のできる範囲で協力したいと思う。



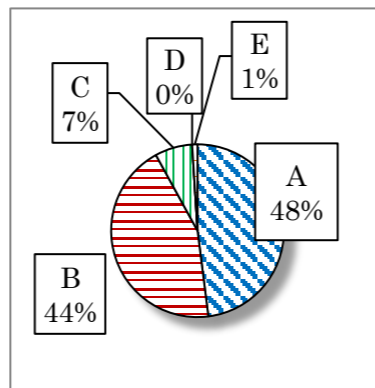
13. 今年の体育大会では、自分としては頑張って取り組むことができたと思う。



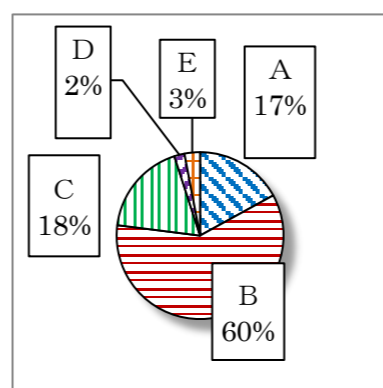
14. 今年の文化発表会では自分としては頑張って取り組むことができたと思う。



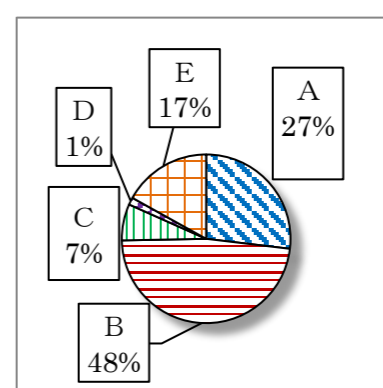
15. 毎日の清掃活動にはちゃんと参加している。



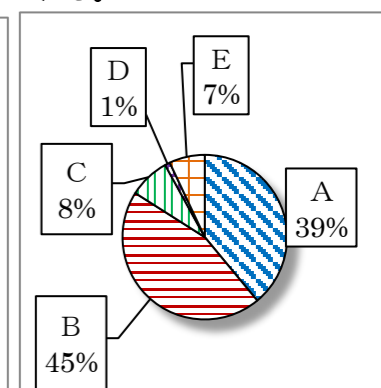
4. 学校での子どもの生活や学習内容については、ある程度把握している。



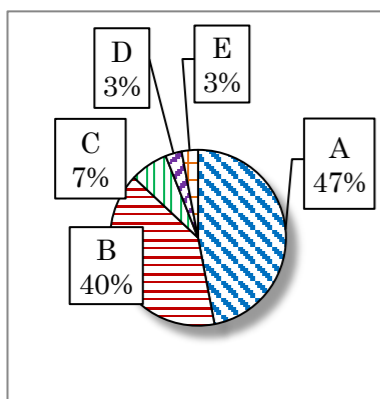
5. 学校は、子どもに人権を尊重しようとする意識を育てようとしている。



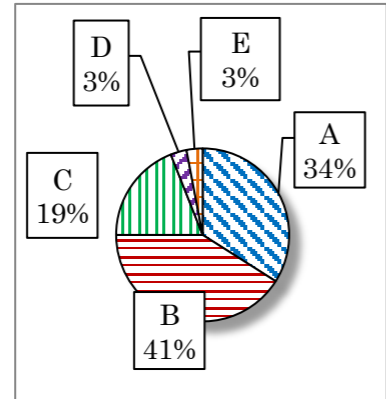
6. 学校は保護者が子どもの様子等について相談したことに適切に対応してくれる。



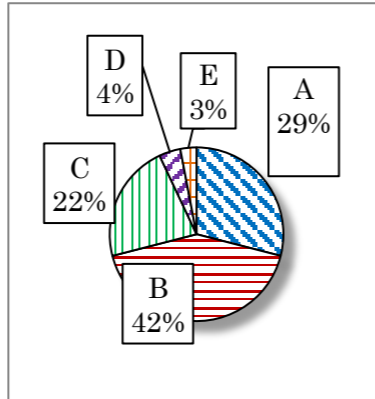
16. 昼食の時間は食事を楽しみ、ほっとする時間になっている。



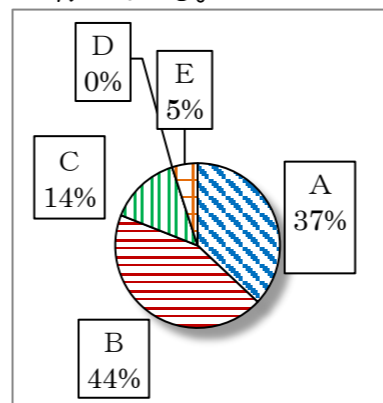
17. 学校からの配布物は、親に渡している。



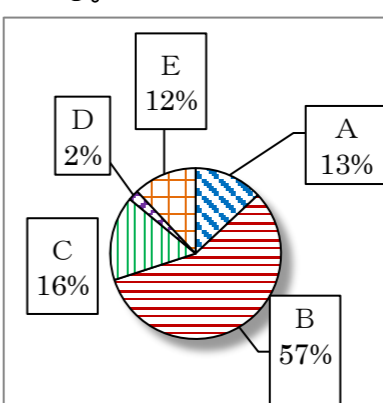
18. 学校の様子について、家庭で話し合う機会がある。



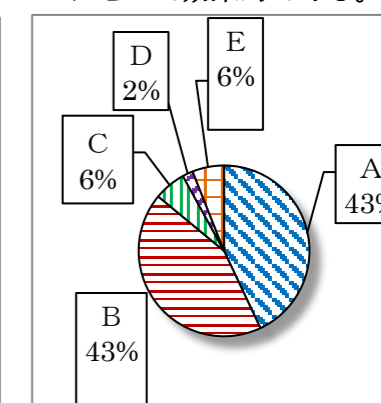
7. 学校は、家庭への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている。



8. 普段の授業について、子どもはわかりやすいと言っている。

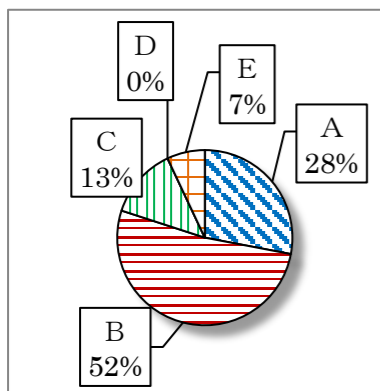


9. 一斉授業に比べて、少人数指導等の方が、子どもにとって効果的である。

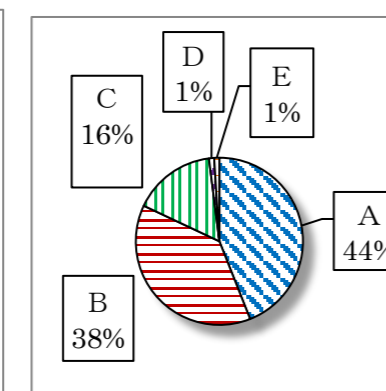


保護者調査・・・18項目の中で保護者の関心が高いと思われる調査項目を、昨年同様に12項目を選んで表示します。

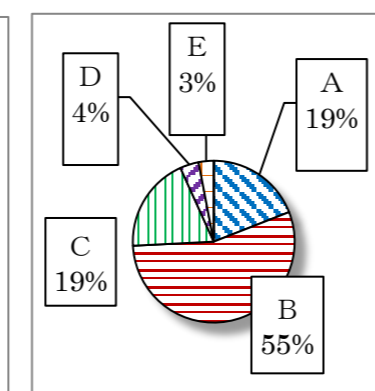
1. 学校の教育目標や指導方針は、分かりやすく保護者に知らされている。



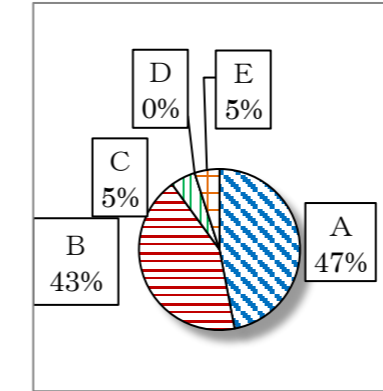
2. 授業参観や学級懇談会には、出来るだけ参加するよう心がけている。



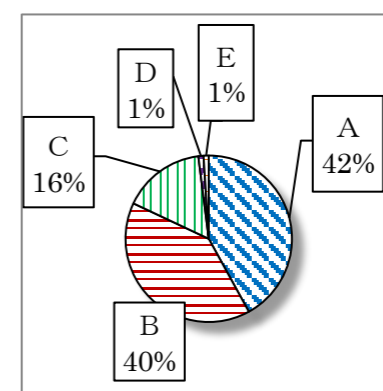
3. 学校の教育活動やPTA活動には、協力していきたいと思う。



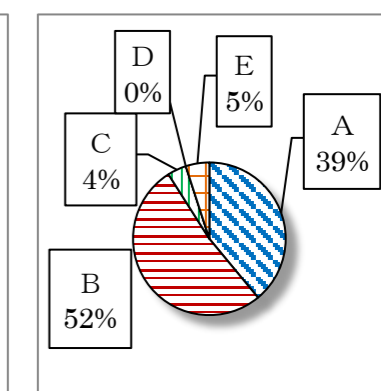
10. 年間を通じての学校行事の内容や数は適切である。



11. 学校からの子どもを通じての配布物には目を通してしている。



12. 学校から保護者への文書や連絡等は適切である。



経年比較調査・・・生徒調査及び保護者調査において、令和4年度と5年度の2年間を比較して、A及びBの合計が増加した項目と減少した項目を比較しました。

○生徒調査 A（よくあてはまる）及びB（ややあてはまる）の合計が増加した項目

項目	令和4年 A B合計	令和5年 A B合計
1. 全般的に授業がよくわかる。	71%	84%
2. 学校生活の基本は毎時間の授業なので大切にしたいと思っている。	81%	88%
5. 自分が習っている先生の中では、指導の仕方ですいろいろ工夫している先生が多い。	76%	81%
7. 一斉授業に比べて、少人数指導等（習熟度別学習や複数の先生による授業を含む）の方が、発言しやすいなど、学習意欲が向上した。	65%	75%
8. 全般的に学校生活は楽しいと感じている。	74%	82%
9. 学校には何かあれば相談できる先生がいる。	61%	69%
11. 本校の生徒会活動や委員会活動は活発だと思う。	75%	87%
12. 生徒会活動や委員会活動には、自分のできる範囲で協力したいと思う。	73%	88%
14. 今年の文化発表会では、自分としては頑張って取り組むことができたと思う。	89%	92%
16. 昼食の時間は食事を楽しみ、ほっとする時間になっている。	75%	87%

●生徒調査 A（よくあてはまる）及びB（ややあてはまる）の合計が減少した項目

項目	令和4年 A B合計	令和5年 A B合計
4. 授業中分からないことがあれば、質問をすることができる。	64%	63%
6. 学校では、人権の大切さについて学習する機会がある。	91%	87%
10. 部活動に積極的に参加している生徒が多いと感じる。	74%	70%

17. 学校からの配布物は、親に渡している。	76%	74%
18. 学校の様子について、家庭で話し合う機会がある。	71%	70%

○保護者調査 A及びBの合計が増加した項目

項目	令和4年 A B合計	令和5年 A B合計
1. 学校の教育目標や指導方針は、分かりやすく保護者に知らされている。	70%	80%
2. 授業参観や学級・学年懇談会には、出来るだけ参加するよう心がけている。	75%	82%
3. 学校の教育活動やPTA活動には、協力していきたいと思う。	72%	74%
4. 学校での子どもの生活や学習内容については、ある程度把握している。	76%	78%
6. 学校は、子どもに人権を尊重しようとする意識を育てようとしている。	66%	75%
8. 学校は、保護者が子どもの様子等について相談したことに適切に対応してくれる。	74%	84%
9. 学校は、家庭への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている。	64%	81%
13. 年間を通じての学校行事の内容や数は適切である。	83%	90%
18. 学校から保護者への文書や連絡などは適切である。	82%	91%

●保護者調査 A及びBの合計が減少した項目

項目	令和4年 A B合計	令和5年 A B合計
7. 普段の授業について、子どもは分かりやすいと言っている。	76%	70%

4. アンケート結果の概要

生徒調査結果の概要

□ A（よくあてはまる）及びB（ややあてはまる）の合計値が高かった上位5項目

1. 今年の文化発表会では、自分としては一生懸命取り組みができたと思う。 92%
1. 毎日の清掃活動にはちゃんと参加している。 92%
3. 学校生活の基本は毎時間の授業なので大切にしたいと思っている。 88%
3. 生徒会活動や委員会活動には、自分のできる範囲で協力したいと思う。 88%
5. 学校では、人権の大切さについて学習する機会がある。 87%
5. 本校の生徒会活動や委員会活動は活発だと思う。 87%
5. 昼食の時間は食事を楽しみ、ほっとする時間になっている。 87%

■ A, Bの合計値が低かった上位5項目

1. 授業や学級活動で、自分の意見を発表することがある。 60%
2. 授業中分からないことがあれば、質問をすることができる。 63%
3. 学校には何かあれば相談できる先生がいる。 69%
4. 部活動に積極的に参加している生徒が多いと感じる。 70%
4. 学校の様子について、家庭で話し合う機会がある。 70%

保護者調査結果の概要

□ A, Bの合計値が高かった上位5項目

1. 学校から保護者への文書や連絡などは適切である。 91%
2. 年間を通じての学校行事の内容や数は適切である。 90%
3. 一斉授業に比べて、少人数指導等の方が、子どもにとって効果的である。 85%
3. 子どもの心身の健康については、気軽に相談できる。 85%
3. 学校の生活指導の方針には、納得している。 85%

■ A, Bの合計値が低かった上位5項目

1. 生徒会活動は、活発に行われている。 60%
2. 学校は、家庭への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている。 62%
3. 学校は、保護者や地域の人たちと話をする機会を多くもっている。 63%
4. 普段の授業について、子どもは分かりやすいと言っている。 70%
5. 学校の教育活動やPTA活動には、協力していきたいと思う。 74%

経年比較調査結果（生徒）の概要

◇生徒調査において、令和4年度と今年度を比較してA, Bの合計値が増加した数値が大きかった上位3項目

1. 生徒会活動や委員会活動には、自分のできる範囲で協力したいと思う。 15%
2. 全般的に授業はよく分かる。 13%
3. 本校の生徒会活動や委員会活動は活発だと思う。 12%
3. 昼食の時間は食事を楽しみ、ほっとする時間になっている。 12%
5. 全般的に学校生活は楽しいと感じている。 8%
5. 学校には何かあれば相談できる先生がいる。 8%

◆生徒調査において、A, Bの合計値が減少した数値が大きかった上位3項目

1. 学校では、人権の大切さについて学習する機会がある。 4%
1. 部活動に積極的に参加している生徒が多いと感じる。 4%
3. 授業中分からないことがあれば、質問をすることができる。 1%
3. 学校からの配布物は、親に渡している。 1%
3. 学校の様子について、家庭で話し合う機会がある。 1%

経年比較調査結果（保護者）の概要

◇保護者調査において、A, Bの合計値が増加した数値が大きかった3項目

1. 学校は、家庭への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている。 17%
2. 学校の教育目標や指導方針は、分かりやすく保護者に知らされている。 10%
2. 学校は、保護者が子どもの様子等について相談したことに適切に対応してくれる。 10%

◆保護者調査において、A, Bの合計値が減少した数値が大きかった上位1項目

1. 普段の授業について、子どもは分かりやすいと言っている。 6%

5. 考察及び今後の改善策

生徒調査結果（経年比較を含む）の考察等

○生徒の調査結果で最も肯定的意見が多かったのは、「今年の文化発表会では、自分としては一生懸命取り組みができたと思う」「毎日の清掃活動にはちゃんと参加している」でした。文化発表会に関しても体育大会に関しても、生徒の中で頑張りきれたという回答が大変多かったです。これからの人生で、生きる力を発揮するためには、学力だけでなく、ともに力を合わせて取り組んだ経験が大きな力となります。2 大行事を中心として、より一層子どもたちがたくましく成長することを

期待しています。

また、清掃活動に関して真面目に取り組む生徒が多いです。加賀田中学校の生徒は物事をまっすぐ真面目にとらえて頑張ることができている証拠だと思いました。しんどいことから逃げない、真面目に頑張る力を今後も育てていきたいと思えます。

○授業や生徒会活動や人権の授業を頑張ることができているという回答も多かったです。授業においては、タブレットを活用して学習するなど、授業改善に努めています。学習指導要領にある通り、主体的、対話的で深い学びが出来るよう、これからも授業改善に努めていきたいと思えます。また、生徒会活動は大変活発で、全校集会などでも子どもを中心に毎回工夫した取り組みが行われています。主役が生徒ということを大切に、様々なことにチャレンジしていけたらと思えます。人権教育においては、校区内で、国際理解(スリランカ・フェスティバルの取り組み)や部落問題学習の研究を進め、相手を思いやることのできる生徒の育成に努めています。

○一方、経年評価で見ると、「生徒会活動や委員会活動には、自分のできる範囲で協力したいと思う。」「本校の生徒会活動や委員会活動は活発だと思う。」という項目が伸びています。学校が活発になると生徒会活動が活発になります。こういった活動を通して、主体性やリーダーシップなどを学ぶことができます。また、協力する姿勢やみんなで成し遂げる達成感なども味わえます。今後も活発な加賀田中学校の伝統を引き継いでいってほしいと思えます。

●「部活動に積極的に参加している生徒が多いと感じる。」の項目が、昨年より少しだけですが下がっています。加賀田中学校では、部活動の入部率が大変高い状況になっています。しかし、全体的にみんなが積極的に参加していると感じないということは、活動を欠席したりする生徒が多いのだろうと予想されます。部活動は、心身を鍛え、人間関係を学ぶ貴重な場です。積極的に活動して、自分の力を伸ばしていってほしいと願っています。

●肯定的な意見が少なかった項目で気になったのが、「授業や学級活動で、自分の意見を発表することがある。」「授業中分からないことがあれば、質問をすることができる。」でした。経年比較では昨年度を上回っていますが、これに関しては、真面目に話を聞いて勉強しているが、積極的に発言や質問をするという、主体性や発信力の欠如が見られます。自分の考えを言えるように、考えを整理して、積極的に発信できるように指導していきたいと思えます。

●肯定的な意見が上がっているものの気になる項目として、「学校には何かあれば相談できる先生がいる。」があります。昨年度の61%から69%にあがってはいるものの、相談できる先生がいないと感じている生徒が30%もいることは、とても心配なことです。生徒から信頼され、安心して相談することができる学校になれるよう努めていきたいと思えます。

保護者調査結果（経年比較を含む）の考察等

○本年度の調査では、うれしいことに生徒の調査も保護者の調査も上がっている項目が大変多かったです。特に保護者の調査では大半の項目が昨年度より上がっていて、コ

ロナも明けて学校が活発になっていることを感じます。保護者の調査結果で特に肯定的意見が多かったのは、「年間を通じての学校行事の内容や数は適切である」「学校から保護者への文書や連絡などは適切である」で、どれも昨年度の80%を超えて90%に達しています。今後も保護者のみなさまとの連絡を密にしていきたいと考えています。

○続いて多かったのが、「一斉授業に比べて、少人数指導等の方が、子どもにとって効果的である」です。少人数授業のメリットを活用して、きめ細かい指導ができるように今後も努力していきます。

○「子どもの心身の健康については、気軽に相談できる。」「学校の生活指導の方針には、納得している。」も肯定的な意見が多かったです。子どもたちのことに関して、保護者と教員の連携がきめ細かくとれているということのあらわれと感じ、大変うれしく思っています。また、生徒指導の方針に関しても、学校の指導の方向性をご理解いただき、同じ目線で子どもの指導に当たられていることを大変うれしく思っています。今後ともご協力よろしくお願いたします。

●一方で「普段の授業について、子どもは分かりやすいと言っている」という項目については、今年度は肯定的意見が昨年度よりも6%下回っています。生徒調査(肯定84%)との差異はあるものの、私たち教職員は結果を真摯に受け止める必要があります。生徒一人ひとりが授業内容を確実に自分のものにするために、教職員が生徒としっかりコミュニケーションをとり、指導内容の確認や日々の振り返りをきちんと実施し、さらには教材等を工夫して丁寧に授業を進めていきます。

6. おわりに

本調査にご協力いただきました保護者の皆さま、誠にありがとうございました。

今年度、新型コロナウイルスによる活動休止期間からかなり回復して、各行事ごとに全教職員でしっかりと議論し、感染症対策を万全にしてほぼ実施することができました。

学校行事は、本校教育目標の「自主」と「協調」を体現する場として、また、生徒たちの自尊感情や達成感を高める場として、最も大切な活動であると位置付けています。保護者や地域の皆さま、学校運営協議会委員の皆さまのご理解とご協力をいただき、本校教育活動を推進できましたことに心よりお礼を申し上げます。

今回の調査結果から、本校の来年度に向けての成果と課題が明確になりました。

生徒及び保護者からの肯定的評価については、私たち教職員にとって大きな自信となり、今後も皆さんの期待に添えるよう、精一杯学校運営に携わってまいります。

今年度の調査全体を考察しましたら、生徒、保護者調査ともに肯定的評価が昨年度より高くなった項目が大半でした。これらの項目に関しては、上昇できたことを励みとして、今後よりいっそう高い評価がいただけますよう、努力を続けていきたいと思えます。

引き続き、皆さま方のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。